

分析のフレーム 1

強み

- A
 - ・ いろんな考え方、個人で出来ないことができる
 - ・ 他大の学生との関わり→医者になってから
 - ・ お金がある
 - ・ 意見交換

- B
 - ・ 目標は同じ、意識は同じ
 - ・ 出身大学が異なる点→多様性
 - ・ 悩み・情報など共有できる←スタートライン一緒
 - ・ 後期研修で制限されているのが
内科・外科・産婦・総診なので、広く疾患を見る機会はある

- C
 - ・ 交流がされることで将来先輩とのつながりができやすい
 - ・ 色々な大学の人が集まる多様性

- D
 - ・ 長野に残るという志
 - ・ 将来へのつながり
 - ・ 他の大学の人や状況(情報)とつながれる
 - ・ 病院見学がめんどくない

弱み

- A
 - ・ 自由度 研修先
 - ・ ライフィベント ex)出産

- B
 - ・ 交流回数の少なさ
 - ・ やらされ感
 - ・ 情報共有がちゃんとといけるか
 - ・ 将来設計が長野に限定
留学とか考えにくい?
 - ・ 制限の存在で、自分のしたいことがあった時に確認とる必要

- C
 - ・ 組織の意識が薄くて強みを生かしきれない
 - ・ 9年
 - ・ 場所のしばり

- D
- ・長野という3000mの壁に閉じこめられる…閉鎖的
 - ・(つながりが)本当に活かせるの？
 - ・将来へき地医療に関わるのが必須

↓

行きたい科や場所ができたら…
選択肢が…

- ・医者になることが運命づけられる

分析のフレーム 2

強みを生かす方法

- A
- ・医者になってからのつながり→病院間のつながりになっていく
 - ・研修会に参加する

- B
- ・LINE グループの活発化←先生以外
 - ・関東で開催して貰う
 - ・卒後、まず懇親会。定期的に飲み会！
 - ・各研修病院での生活について、学生相手にプレゼンもしくはサイト開設
 - ・患者情報の共有

- C
- ・研修医の先生や上級生がなんとかする
 - ・組織を生かして仲間をふやす

- D
- ・情報をストックできる場所
(他の人や病院で学んだ、失敗したことをつぶやける)

弱みを克服する方法

- A
- ・研修会の参加しやすさ ex)同じセミナーを別の場所で。増やす、開催地など
小規模でも、科ごとなど
病院ごとの強みを聞ける、知る
 - ・たすきがけ→県外の病院を選択肢に入れる
 - ・卒後からはじまる義務年限をライフイベントに合わせて始める

- B
- ・選べる病院の制限を広げる
 - ・交流の機会を増やす→やる気上げる為に

- ・先輩から体験記を書いて貰う
- ・県をまたいでトレードオフ

- C ・酒
 ・好きな9年

- D ・地域間での医師のトレード(学生からも)
 ・県域をまたいで医療をする時に他県とのコミュ
 ・護身術を習おう